

でわかること

「加工食品」には、「名称」「原材料名」「保存方法」などを
は私たちが商品を選んで購入し、保存したり食べたりする
じっくり見てみれば、さまざまなことがわかります。
毎日のお買い物に役立てましょう。

例えば

CO・OPだし入りみそ



① 名称	米みそ(だし入り)
② 原材料名	大豆(アメリカ又はカナダ又はその他) (分別生産流通管理済み) 米、食塩、かつ おエキス、かつおぶし粉③、こんぶエキ ス④、コール、調味料(アミノ酸等)
③ 内容量	750g
④ 賞味期限	カップ側面に記載
⑤ 保存方法	開封前は直射日光を避け、常温で保存
⑥ 販売者	日本生活協同組合連合会

大豆の産地は、過去3年間の使用実績順

1

表示する項目は決められている

その商品の内容を表す一般的な名称や原材料名など、決まっ
た項目を表示することが定められています。輸入品の場合、
輸入者なども表示されます。

2

原材料名は使用量が多いものから順に表示

原材料名は使用量が多いものから表示し、最も多く使われ
ているものは産地名・国名も表示します。産地が複数ある
場合は多く使われている順に表示します。この商品のように、
複数の産地のうちいずれかを使用する場合は「又は」と表
示し、過去の使用実績などをもとに多い順に表示します。



一番多く
使っている
原材料は大豆

産地はアメリカ・
カナダ・その他
のいずれか

Q

そのとき使っている
産地だけを
表示できないの？

A

加工食品の場合、常に安定して原材料を仕入れられるよう、複数の産地を確保
しています。産地が変わるたびに表示を切り替えると、作業が複雑になり、食品
ロスにもつながります。そのため複数の産地の表記が認められています。

今回の取り組みは、目標3：

すべての人に健康と福祉を
につながっています。

3

すべての人に
健康と福祉を





食品の表示

ハムやパン、冷凍食品や調味料……。こうした表示することが法律で決められています。表示ときに使う大切な情報。表示の方法や内容を表示の意味を正しく理解し、

3

遺伝子組換え表示の対象となる食品

大豆やとうもろこしなど、日本で安全性が確認された9つの農産物と、それらを使用した33食品群の加工食品が表示の対象です。原材料に占める重量が上位3位以内、かつ全重量に占める割合が5%以上のものに表示が義務付けられています。

原材料に対象の食品を使用した場合	表示例
遺伝子組換えを使用	大豆(遺伝子組換え)
遺伝子組換えと非遺伝子組換えが混在	大豆(遺伝子組換え不分別)
遺伝子組換えと非遺伝子組換えを分けて管理している	大豆(分別生産流通管理済み)
遺伝子組換えの混入がない(不検出)	大豆(遺伝子組換えでない)

義務表示
(必ず表示)

任意表示
(表示しなくてもよい)

2023年4月から、より厳格な表示になりました

「遺伝子組換えでない」の表示がより厳格に

これまで「遺伝子組換えでない」という表示をする場合、「収穫や輸送中に意図せず遺伝子組換え作物が混入する割合が5%以下」と定められていましたが、法律の改正により「遺伝子組換えの混入がない」ことが条件となり、より厳格になりました。

多くのコープ商品はきちんと分別されているものを使用していますが、輸送の都合上、微量の混入は避けられないため、「分別生産流通管理済み」の表示に切り替えています。

CO・OPだし入りみその以前の表示

原材料名 大豆(アメリカ又はカナダ又はその他)(遺伝子組換えでない)、米、食塩、かつおエキス、かつおぶし粉末、こんぶエキス/アルコール、調味料(アミノ酸等)
内容量 750g

現在の表示

●名称:米みそ(だし入り)●原材料名:大豆(アメリカ又はカナダ又はその他)(分別生産流通管理済み)、米、食塩、かつおエキス、かつおぶし粉末、こんぶエキス/アルコール、調味料(アミノ酸等)●内容量:750g

食品の表示は常に見直されている

表示の内容や方法は法律で定められており、不確かな情報が掲載されないようになっています。その内容も常に見直されており、④のスラッシュルールは2020年から、②の原料原産地の表示は2022年から、③の遺伝子組換え表示は2023年から使用されるようになりました。

コープデリグループでは、商品の品ぞろえや安全性、開発・調達方針の考え方を「商品政策」として定めています。組合員の皆さんに正確な情報をより分かりやすくお伝えすることを目指しています。



商品政策を
もっと詳しく

4

スラッシュルール

食品添加物をひと目でわかるようにするための表示です。「/ (スラッシュ)」の前までが原材料、「/」の後が食品添加物です。食品添加物も多く使われている順に表示します。

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。

